

再飲酒を繰り返した アルコール依存症者の 回復に向けた支援

医療法人耕仁会札幌太田病院

1 階デイナイトケア課

1) 公認心理師 2) 精神保健福祉士

事例紹介

A氏 30代 男性 主病名：アルコール依存症

- 仕事終わりに習慣的に晩酌 ▶ 酒量増加
- 飲酒によって体調不良 欠勤や遅刻を繰り返す
▶ 職場から病院受診を勧められB病院へ入院
- 退院後は断酒していたが、再飲酒
- 抑うつ気分や意欲低下、不眠が現れ休職
- 両親と同居しつつ当院で外来通院 ▶ 断酒に至らず入院

治療経過 デイケア（日々の支援）

退院後 デイケアへ通所を開始
 運動系のプログラムへ積極的に参加

半年後 再飲酒を繰り返し、通所が減る
 A氏) 些細なイライラが募った

架電し、デイケア参加を促す



A氏) 行けたら
行こうかな

◎ よほどの体調不良がなければデイケアへ来所

木曜断酒会：オンラインで参加 再飲酒についても話す

治療経過 デイケア(心理教育)

- 再飲酒時に書いてもらった満足度リストには自身のコミュニケーション面に言及
- 引き金への対処方法を学ぶ

住環境・仕事・健康面など
現時点での満足度

心理教育プログラムへ参加

アサーショントレーニング、認知行動療法、SMARPP など
「飲酒欲求に対してマインドフルネスを用いた」

▶ 飲酒以外の対処行動の獲得

治療経過 家族への支援

家族会（みつば会）

A氏入院中から家族会に参加

A氏母）他の参加者からアドバイスと、
元気を貰うことができた

母との情報交換



A氏母）本人の状況がわかり、
優しく接することができた

治療経過 断酒

「飲酒して体調不良の状態でデイケアのプログラムに参加し、思うように動けなかった」

飲酒することでやりたいことが
できなくなっているのを実感した



断酒継続は 「社会復帰のためにデイケアに来ていたはずが、
デイケアに来ることが目的になっていた」

社会復帰 とその体力づくりのため

考察 本人への支援

デイケアから足が遠のいている時も、

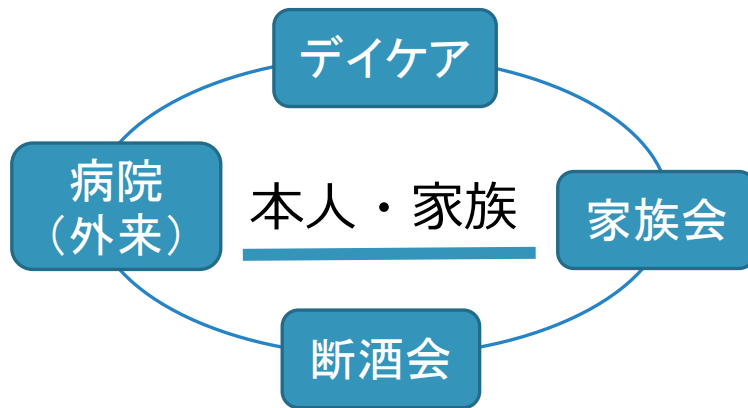
- ◎ 関係性を継続していくことで、断酒のきっかけを掴む可能性

木曜断酒会：オンラインで参加 再飲酒についても話す

入院中の勉強会にて、万が一
飲酒してしまった時は“断酒会で話す”

- ▶ 再飲酒した時の対応を事前に共有していた

考察 家族も含めた複合的支援



再断酒に至ったと
考えられる

アルコール依存症者の家族がアルコール問題に対処できるようになるために、心理面へのサポートが重要⁽¹⁾

家族会の効果はどの程度か不明

満足度リストには

「家族を断酒できていたころのように安心させたい」

(1) 越智百枝 他 アルコール依存症者の家族の支援プログラムに関する文献検討 高知女子大学看護学会誌

ご清聴ありがとうございました